

平成23年度 新国立劇場  
高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演  
オペラ「愛の妙薬」  
ご案内

新国立劇場（東京・初台）は、オペラ、バレエ、現代舞踊、演劇等の現代舞台芸術の一層の発展、普及を目指して平成9年に開場し、多彩な活動を展開してきました。特に現代舞台芸術の普及を目的に若い世代が優れた生の舞台を鑑賞する機会を設け、舞台芸術の普及、心豊かな文化的社会の構築、そして健全な青少年の育成に力を入れています。その若い世代への舞台芸術普及活動の一環として、平成10年より「新国立劇場高校生のためのオペラ鑑賞教室」を開始し、平成22年7月で13回目を数えています。一般のお客様向けのオペラ公演と全く同じクオリティの舞台を、お安い値段で高校生に鑑賞していただくこの事業には、例年1万人に上る首都圏の高校生が参加し好評を得てまいりました。

また、平成20年度より、尼崎市総合文化センター アルカイクホールとの協力のもと、関西公演を行い、多くの関西の高校生がオペラを初体験いたしました。平成22年10月には第3回のオペラ鑑賞教室・関西公演が行われました。このたび平成23年度の関西公演の開催が決定いたしましたので、ここにご案内申し上げます。つきましては、学校の鑑賞行事として、またクラブ活動の一環として、オペラ鑑賞教室へのご参加をご検討いただければ幸いです。

財団法人 新国立劇場運営財団

<お申し込み、お問い合わせ>

新国立劇場 営業部 オペラ鑑賞教室係

〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1

TEL : 03-5352-5745

FAX : 03-5352-5744



## オペラ鑑賞教室 3つのポイント

- 1) 本物に触れる感動を！  
次世代を担う多くの若者である「高校生」に、正真正銘の「本物」に触れる機会を提供します。劇場を訪れるその瞬間から、通常の公演と同じように接し、高校生の皆様を一人のお客様として対応させていただくことにより、オペラの「本物」としての素晴らしさを体験していただくことはいままでもなく、一人の観客として、芸術を鑑賞する態度やマナーを涵養いたします。
- 2) フルオーケストラによる全曲演奏！  
鑑賞教室と銘打ってはおりますが、公演そのものは通常の公演と全く同じ内容となります。テープもマイクも使用せず、フルオーケストラによる全曲演奏で、オペラ歌手の生の歌声をご堪能いただきます。本物の音楽の奏でる繊細さや力強さ、舞台上に展開する豊かな芸術性や劇的興奮など、オペラという芸術の持つ魅力を存分に味わうことができます。
- 3) 特別価格にてご提供！  
多くの次世代を担う若者が本物に触れる機会となるように、この公演のみ「高校生2,100円」という特別価格にて提供します。(内容は一般向け公演と全く同じです。一般S席23,100円)

## 新国立劇場について

新国立劇場は、オペラ、バレエ、コンテンポラリーダンス、演劇という現代舞台芸術のための日本で唯一の国立劇場として、1997年に開場しました。現実世界から夢の世界へいざなうような豪華な建物とともに、上演する公演の高いクオリティーが、日本国内のみならずいまや国際的にも注目される劇場となっております。建物内に大中小3つの劇場があり、おもにオペラやバレエを上演する「オペラパレス」は、日本でただ一つのオペラバレエの専用劇場としてホワイトオークでできた客席内は、生のオーケストラの音を最大限聴かせる最高の環境です。



劇場外観

オペラ劇場客席

## 尼崎市総合文化センター アルカイクホールについて

尼崎市総合文化センターは、大・中・小の3つのホール、美術ホール、カルチャースクール、練習室など、観る、演じる、創る、学ぶなど、文化を楽しむための施設が揃っており、尼崎市の文化発信の拠点として多くの来場者が訪れ、来年、開館35周年を迎えます。

特に昭和57年に開館した大ホール（アルカイクホール）では、その舞台機構と音響の良さを生かして、関西二期会をはじめとするオペラ団体の定期公演や小澤征爾プロデュースオペラシリーズ、創作市民オペラなど、今までに120公演を超えるオペラを実施しており、「オペラのアルカイク」として関西のオペラファンに親しまれております。

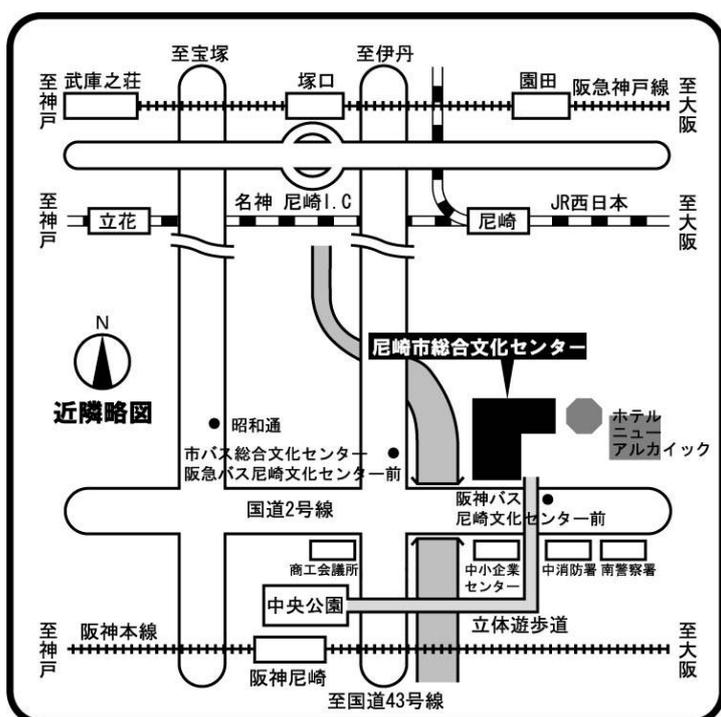
平成20年度より新国立劇場の「高校生のためのオペラ鑑賞教室」も新たに加わり、次世代を担う青少年から大人まで幅広くオペラが楽しめるホールとして更なる進化を遂げております。



尼崎市総合文化センター 全景



アルカイクホール



阪神電車で、梅田から7分、  
大阪難波から20分、三宮から22分  
阪神尼崎駅下車 立体遊歩道で徒歩約5分  
(国道2号線玉江橋交差点すぐ)

### お問い合わせ先

尼崎市総合文化センター 総合受付

TEL 06 (6487) 0800

午前9時から午後7時まで(毎週火曜日、年末年始、  
お盆期間やその他の休館日を除く)

平成23年度

高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演

Gaetano Donizetti / L'elisir d'amore

ドニゼッティ

# 「愛の妙薬」

【イタリア語上演／全2幕・字幕付】

上演時間：約2時間35分(休憩1回含む)



2011. 10/26(水)2:00  
28(金)1:00

尼崎市総合文化センター  
アルカイクホール

[阪神尼崎駅下車 徒歩5分]

「新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室」は、現代舞台芸術の一層の普及をめざす新国立劇場が、次の世代を担う青少年に優れた芸術を鑑賞する機会として平成10年度より毎年開催しています。高校生を学生扱いせず、一般のお客様と全く同じスタイルで名作オペラを全曲鑑賞していただくというコンセプトが大変ご好評をいただいております。平成20年度より新たに関西公演が開始され、東京公演、関西公演あわせて1万3千人の高校生が「本物の芸術」である本公演でオペラデビューをいたしました。

主催：新国立劇場  
財団法人 尼崎市総合文化センター

助成：公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

協賛：ローム株式会社

本公演についてのお問合せは  
新国立劇場 営業部 営業一課  
オペラ鑑賞教室 関西公演 担当まで  
TEL : 03-5352-5745  
FAX : 03-5352-5744  
E-mail : opera09@nntt.jac.go.jp

# 愛の妙薬

## あらすじ

S:ソプラノ T:テノール Br:バリトン B:バス

### <第1幕>

バスク地方のある村。純朴な農民ネモリーノ(T)は女農業主アディーナ(S)に恋をしている。木陰で読書にふけるアディーナは、トリスタンが惚れ薬でイゾルデ姫を射止めた話を村人に読み聞かせ、「そんな妙薬があったらいいね」と大笑い。そこに色男を気取る軍曹ベルコーレ(Br)が兵士を連れて現れ、アディーナに求愛するが、彼女は「考えさせてください」とすぐに応じない。二人のやりとりを聞いたネモリーノは、勇気を出して自分の思いを伝えるが、アディーナは「町に行って伯父さんの看病をしなさい」と言って取り合わない。ラッパの音に誘われ、広場に村人が集まると、薬売りのドゥルカマール(B)が現れ、万病に効く薬を宣伝する。有り金をはたいて愛の妙薬(実は安ワイン)を買ったネモリーノは、その効果が一日後に現れると信じて飲み、酔って陽気になる。アディーナがネモリーノの態度に気分を損ねていると、ベルコーレが来て再び求愛する。そこに軍隊の出発命令が届く。「今日中に結婚しよう」とベルコーレに言われ、アディーナが承諾しようとするので、驚いたネモリーノは明朝まで待つてほしいと必死で訴え、皆の笑い物になる。



### <第2幕>

アディーナの農園の庭。アディーナとベルコーレの結婚祝宴が開かれ、ドゥルカマールは花嫁を相手に余興の二重唱を歌う。公証人が来て、結婚契約のため皆が立ち去ると、ネモリーノはドゥルカマールに惚れ薬をねだり、お金がなければだめと断られる。絶望するネモリーノを見たベルコーレは、「入隊すれば20スクードもらえる」と教え、その場で手続きさせる。

村の広場。ネモリーノが叔父の遺産を相続した、とジャンネッタ(S)から聞き、娘たちが色めき立つ。偽の妙薬を飲んで酔っ払ったネモリーノは、突然娘たちにちやほやされ、薬が効いたと喜ぶ。その姿にアディーナはショックを受けるが、彼が軍隊に身を売って妙薬を買ったとドゥルカマールに教えられ、ネモリーノの強い愛情に心を打たれる。

アディーナの愛を確信したネモリーノが「神様、もう死んでもいい、これ以上求めません」と感極まっていると、アディーナが来て、入隊契約を買い戻したと告げる。「愛してくれないなら兵隊になって死ぬ」というネモリーノに、アディーナは「愛しているわ」と答え、永遠の愛を誓う。幸せな二人を見たベルコーレはアディーナを諦め、ドゥルカマールは村人の歓呼を浴びて去っていく。

